

普段から人との繋がりを
感じられる
明るいまちづくり



NPO法人ぽかぽかの森
認知症カフェ・アンキカフェ



なぜ、アンキカフェにバス停が??

実は…。

よく、聞かれます。

「バス停があるってことは、
豊鉄バスが来るんですか??」

と。



残念ながら…バスは止まりません

なのに、なぜバス停??

それには深い理由があるんです。

ちなみに昨年10月の
ナニコレ珍百景にてバスが来ない
バス停として、珍百景登録されました！



これはある国で取り組まれた実話。

ドイツのある介護施設で、
アルツハイマー型認知症の方の失踪に悩んでいました。

「かつての家や家族の元に帰りたいという気持ちが大きい。」
そのことに気が付いた介護スタッフたち。

そこで、地元の介護協会とバス運営会社をお願いして、
取り組んだのが、**「バスの来ないバス停」**設置でした。

その結果…。

効果は予想以上のものに！

認知症の方の交通事故や行方不明が激減したとのこと。

この取り組みは、ヨーロッパの国に広がっているのだとか。

「バスを待っていたら、目的の場所に行ける」

現実を見るのではなく、その方がみている世界に合わせる。

こんな「**優しい嘘**」も時には必要なのかもしれませんね(^^)

ちなみに、アンキカフェのバス停は…

重機の下敷きになり、
車いす生活になりそうかも…という、
理事長のお父様が、
奇跡的に復活して作り上げたものです。

今では、フォトスポットとして。
井戸端会議のスポットとして
人気の場所になっています(^^)



アンキカフェ誕生秘話①

きっかけは…

理事長のお父様が重機の下敷きになり、
この先車いす生活になるかも…。

同時期に、お母様も怪我をされ…。
少しでも笑顔を取り戻してほしい。

年齢を重ねても、安心できる、

地域の居場所を作りたいという理事長の想いに賛同した、

9名の理事で、NPO法人ぽかぽかの森を立ち上げ、
運営を開始することになりました。



アンキカフェ誕生秘話②

ちなみに私と理事長の出会いは、
2020年秋期に開催された、
豊橋市社会福祉協議会様主催の、
「地域で輝く！レクリエーションリーダー養成講座」
でした(^^)

まさか、2021年6月に認知症カフェと一緒に立ち上げるなんて、
びっくり！ご縁に感謝ですね(^^)

認知症カフェってさ…。

よくいわれるのが…

- 認知症カフェは認知症の方が集まっているところ。
- 認知症カフェは認知症当事者の方と、そのご家族様が集う場所。
- 認知症の当事者の方が働いている場所。

認知症カフェの形に正解も不正解もない。

私達、NPO法人ぽかぽかの森
認知症カフェ・アンキカフェが運営する、認知症カフェは。

**「住み慣れた地域で安心して暮らせるように。
地域の方に正しく認知症を
理解してもらうことを
目的として活動しています。」**

もっと、かみ砕いて言えば…



認知症カフェの形に正解も不正解もない。

「認知症の当事者やご家族だけでなく。

赤ちゃんからお年寄りまで気軽に足を運べる場所でありたい」

「困ったときに、**誰でも気軽に相談できる場所。**

地域で活躍したい方や団体様、企業様と。

地域を繋ぐ架け橋の場所でありたい」

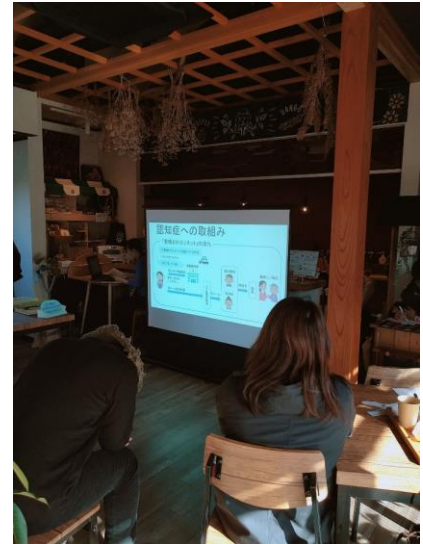
という気持ちで運営しています。



認知症カフェの形に正解も不正解もない。

あるときは、

- 様々な年代の方が集まっておしゃべり。
- 地域で活躍したい方がイベント開催。
- 認知症サポーター養成講座や豊橋市まちづくり出前講座をみんなで学習会。
- 週末や夏休みなどのお休みは「子ども店長」が大活躍。
- 一人でゆっくりカフェ時間。コワーキング利用も。



認知症カフェの形に正解も不正解もない。

年末にはこんなご依頼もありました！

地域のデイサービス様から、

「コロナ禍で、なかなかご利用者様に対して外出企画を立てられない…アンキカフェでクリスマス会できないか？」



打合せを経て、貸切日をつくり。急遽ボランティアを募り。

楽しいクリスマス会を開催。最後はみんなで「エール体操」

を行いました(^^) ⇒ **アンキカフェはみんなの夢をかなえる場所！**

認知症カフェの形に正解も不正解もない。

**世代を越えて、
交流できる場所**でありたいと思っています。

どうしても「認知症」「介護」ってきくと…
若い世代の方、ご両親が元気な方は、

「私には関係ない」「私にはまだ早い」と思われたり。

「大切なことなんだけど、知りたいけど…」

今は現状でいっぱいいっぱいだから…」

とおっしゃる方も中にはいらっしゃるかと思います。



認知症カフェの形に正解も不正解もない。

悩みや相談ごとって…**普段から信頼・信用ありき**のもの。

「普段足を運んでいるカフェにいけば、なんとかなる！」



「**認知症カフェ・アンキカフェに行けばなんとかなる！**」

と思ってもらえるような居場所づくりをしていくとともに。
同じような場所が豊橋市内にたくさん増えてほしいと切に
願います。

どんな人にも…居場所が必要

どんな人でも、その人らしさを大切にできる居場所がたくさんあったら。自然と普段からたすけあえる。

頼り合える場所があったら。

きっと、お出かけ先の候補も自由に選べるはず。

**豊橋鉄道様はじめ公共交通機関を利用することで、
移動手段の足を確保することが大事**だと思います。

たくさん居場所&助け合いの輪が広がれば…

何らかの理由で、運転免許を返納せざるを得ない方も。

安心感が増すのではないのかな…と思います。

理想はやっぱり…

普段から人との繋がりを感じられる
明るいまちづくりですね(^^) /



さいごに

私達NPO法人ぽかぽかの森をきっかけとして、
豊橋にも認知症カフェがたくさん存在していること。
まちづくり活動をしている方がたくさん豊橋に、
いらっしゃることを知っていただきたいと思います。

みなさん、是非。認知症カフェ・アンキカフェに足を運んで
いただくとともに豊橋市役所長寿介護課が発行している、
「**actyアクティ**」や「**知って安心 認知症ガイドブック**
認知症カフェ&まちの居場所」も
この機会に是非手にとってみてくださいね(^^)／

認知症カフェ・アンキカフェ

場所：豊橋市神野新田町字ワノ割107
(国道23号バイパス沿いです。)

営業時間：9時～16時
(営業時間外はレンタルスペースとして
運営しております。)

休業日：毎週木曜日 (臨時休業あり)

※詳細はインスタグラムにて随時更新しています ⇒



今回は特別に
アンキカフェ内をご紹介します！



アンキカフェにて
皆様のお越しを
おまちしております(^^)/

